

蔵書に関する基本計画試案への掲載案（赤字箇所を追加修正）

5-6 蔵書・資料の収集について

現花巻市立図書館は、「花巻市立図書館資料収集方針」「花巻市立図書館資料選定基準」（「資料編」）に基づき資料を収集していますが、現在の蔵書構成を見ると、一般・ティーンズ、児童ともに文学が多く、所蔵している構成比に偏りがあることが分かります。新花巻図書館の整備にあたっては、基本方針の一つである「暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館」の実現、さらには多様化、高度化する市民ニーズに対応するため、出版状況や先進図書館を参考に検討した図 7 の新たな蔵書構成目標と下記について考慮し幅広い分野の資料収集に努め、開館に向けて具体的な蔵書計画を策定します。

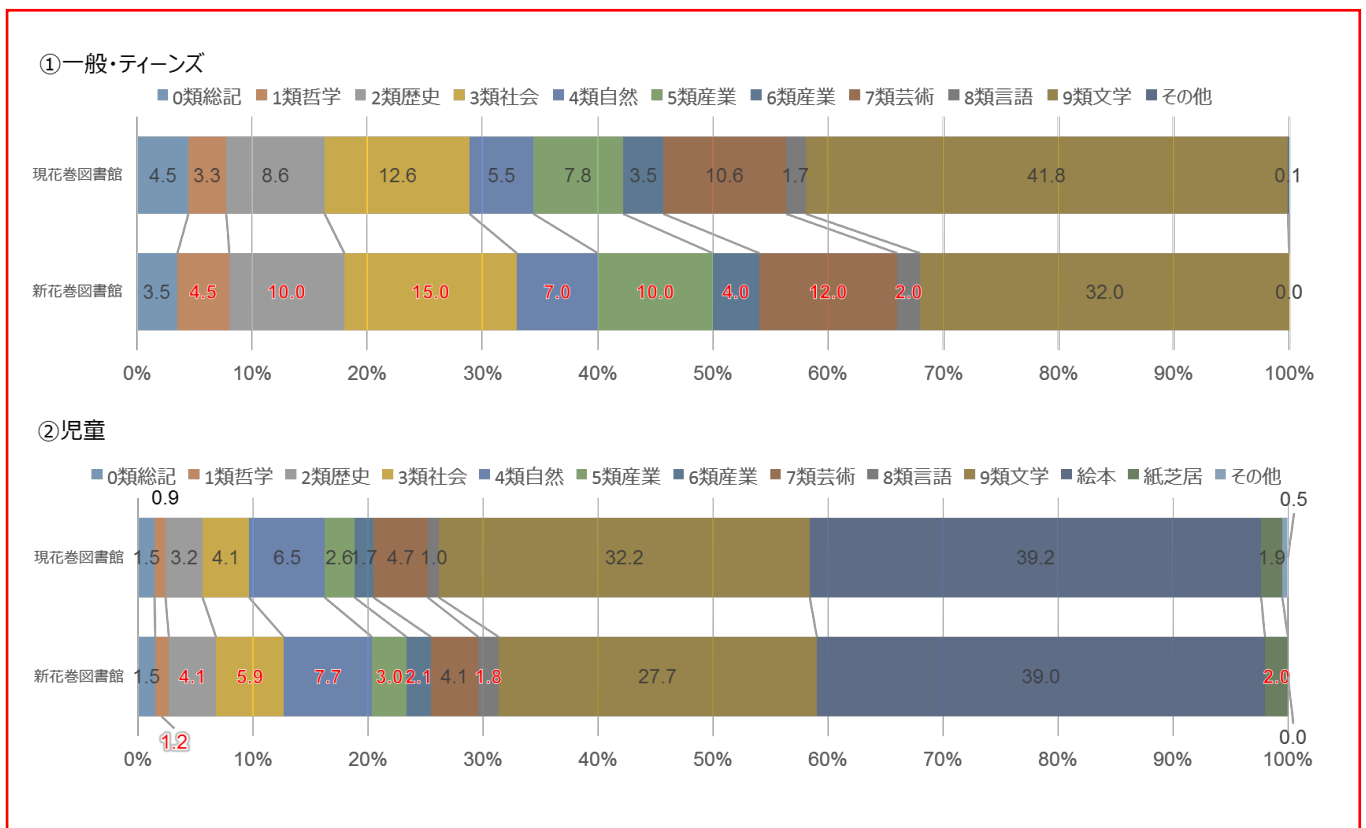


図 7 NDC(日本十進分類法)ごと蔵書構成目標

(1) 広い分野の収集・・・

6-2 施設の規模

(1)新花巻図書館の収蔵能力

新花巻図書館の収蔵能力については、概ね表6のとおりとします。

表6 収蔵能力（見込み）

	収蔵能力(冊)	備考
1 開架冊数	230,000	一般・ティーンズ 98,000 児童 42,000 参考図書 20,000 地域・行政資料 30,000 視聴覚資料 40,000 新聞 35 紙、雑誌 300 誌
2 準開架(公開書庫)冊数	70,000	
3 閉架冊数	400,000	貴重書、郷土資料や児童書等の複本、新聞・雑誌のバックナンバー、地域・学校・施設等へのサービスのための資料を収蔵するほか、地域館の共同書庫としての機能を持たせる
合計	700,000	

※資料の増加に対応するため余裕を持った収蔵スペースとする。

利用頻度が下がった資料は開架書庫から閉架書庫へ移すことで開架の蔵書を新鮮に保ち、市民がいつ訪れても魅力的な資料に出会えるようにするほか、中央館として資料保存の機能や地域館の共同書庫としての役割を果たすため、閉架書庫はなるべく多く確保します。

また、オープン時の蔵書数は収蔵能力 70 万冊の 4 割にあたる 28 万冊程度としますが、その具体的な蔵書内容については今後開館に向けて蔵書計画を策定します。

なお、収蔵能力や蔵書数等については、今後資料のデジタル化や市の人口及び財政状況についても考慮しながら引き続き検討します。

(2)スペース別面積規模

新花巻図書館の各施設のスペース別面積規模は表7のとおりです。

この規模は概ねの目安であり、日本図書館協会図書館雑誌掲載統計の「数字で見る日本の図書館 貸出密度上位の公立図書館整備状況」に記載されたデータにより、床面積を想定しています。・・・